

DI (Diffusion Index=景気動向指数) とは
各調査項目について、好転企業割合から、悪化企業
割合を差し引いた値を示し、景気の現状把握や将来
の見通し予測を行う。

DIがプラスなら……好転、上昇基調

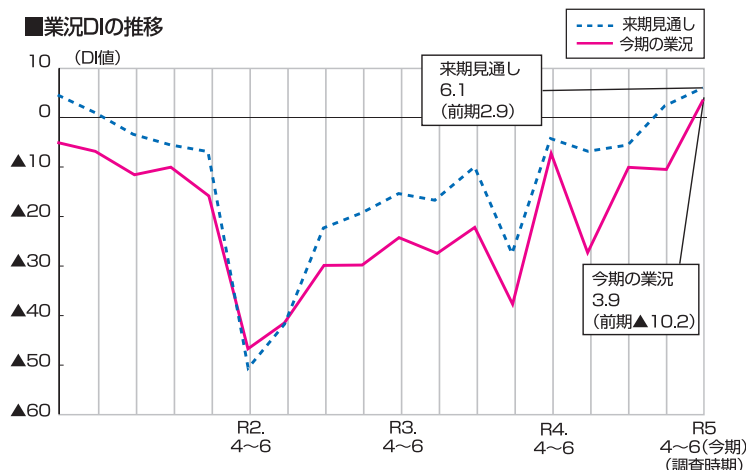
DIがマイナスなら……悪化、下降基調

記号の見方

DI値	▲25P以下	▲25～ ▲10P未満	▲10～ 10P未満	10～ 25P未満	25P以上
景況	特に悪化 ↓	悪化 ↘	横ばい →	好転 ↗	特に好転 ↑

鹿児島商工会議所 景況調査

調査期間 令和5年4～6月
回答企業数 156社



今期業況は改善傾向に。

【今期(令和5年4～6月期)の業況】

全産業の業況DI値は、3・9
(前期比プラス14・1ポイント)と
改善。新型コロナウイルス感染症移行に
よる各方面での行動制限の緩和や、
経済活動の正常化等が後押しし改善
のうごきが見られた。

【来期(令和5年7～9月期)の見通し】

全産業の来期見通しは、6・1
(前期時の来期見通し(2・9)か
らプラス3・2ポイント)改善。コ
ロナ5類移行後の期待感として改
善状況が続くと見られる。

新型コロナウイルス類移行による経済活動正常化へ。

【今期の売上額・資金繰り・採算】

全産業の売上額DI値は、16・3
(前期比プラス19・7ポイント)と
なり、なかでも建設業と卸売業はい
ずれも前期からプラス30ポイント超
の大幅改善となった。小売業以外の
産業で改善が見られた。

全産業の資金繰りDI値は、▲

9・2 (前期比プラス1・8ポイン
ト)となり、卸売業以外の産業で改
善が見られた。
全産業の採算DI値は、▲3・3
(前期比プラス12・5ポイント)と
なり、小売業以外の産業で改善が見
られた

【回答企業のコメント】

・原材料の高騰により仕入のため
の資金繰りが厳しい状況にある
(製造業)

・コロナ禍後に商品の品揃え等が
変化したことに伴い、顧客への売
り方も変わってきている(小売
業)

・売上がコロナ禍前の7割程度に
回復した。今後は補助金を活用し
たホームページのリニューアル
等により、これまで以上に販売促
進を図りたい(サービス業)

■産業別DI値表

		前期 [R5.1～3] (A)	今期 [R5.4～6] (B)	増減 (B)-(A)	来期見通し [R5.7～9]	
業況	全産業平均	▲10.2	3.9	14.1	6.1	→
	製造業	▲23.5	0.0	23.5	▲3.1	→
	建設業	▲19.2	▲21.7	▲2.5	▲15.0	↘
	卸売業	▲23.8	25.0	48.8	17.9	↗
	小売業	▲3.1	▲3.3	▲0.2	10.0	↗
	サービス業	▲5.9	12.8	18.7	13.2	↗
売上額	全産業平均	▲3.4	16.3	19.7	23.4	↗
	製造業	▲5.9	12.1	18.0	27.3	↗
	建設業	▲25.9	4.8	30.7	▲4.5	→
	卸売業	0.0	32.1	32.1	28.6	↗
	小売業	12.5	10.0	▲2.5	23.3	↗
	サービス業	17.6	19.5	1.9	31.7	↗
資金繰り	全産業平均	▲11.0	▲9.2	1.8	▲1.3	→
	製造業	▲21.2	▲9.4	11.8	▲13.3	↘
	建設業	▲22.2	▲17.4	4.8	▲21.7	↘
	卸売業	▲4.8	▲7.4	▲2.6	7.1	→
	小売業	▲20.0	▲13.3	6.7	3.3	→
	サービス業	▲5.9	▲2.5	3.4	10.0	↗
採算	全産業平均	▲15.8	▲3.3	12.5	1.3	→
	製造業	▲23.5	▲3.1	20.4	▲9.4	→
	建設業	▲25.9	▲21.7	4.2	▲21.7	↘
	卸売業	▲38.1	3.6	41.7	10.7	↗
	小売業	▲3.2	▲10.0	▲6.8	6.7	→
	サービス業	▲3.0	7.7	10.7	13.2	→